

就任の辭

會長 鈴木 長 明

不肖今般會員諸君の御推舉により前會長本間徳雄君のあとを繼いで滿洲土木學會長の重任を御引受する事となりましたことは誠に光榮に存すると共に、時局下責任の重大なるを痛感し、及ばず乍ら本會發展の爲に微力を盡す所存でありますに付いては會員各位の多大の御支援と御鞭撻を御願する次第であります。

云ふまでもなく苛烈なる戦局の要請により凡ゆる部門に於て今日程大きな國家の負託が吾々科學技術者に課せられてゐる事はありません、一機でも多く一隻でも航空機艦船を造ると云ふ今日は國家の唯一にして最大、最急の目標に向つて、凡ゆる科學、技術が一體となつて結集されなければならぬ時に當つて吾々土木技術者が建設、輸送の分野に於て此の國家目標に如何に大きな責任を分擔してゐるかを深く認識する必要があると思ひます、土木技術とは決して平和の技術ではなく、寧ろ戦力増強の基礎的技術として最も重視されなければなりません。

今日如何なる部門、分野に於きましても技術者の不足と資材の窮迫は共通な悩みでありまして、特に吾々のあとを繼ぐべき若き新進學徒、技術者は國家の絕對至上の命令の下に一人でも多くを前線に送らねばならないのでありますから今後學術の進歩、技術の向上を之等青年學徒、技術者に期待する事は出来ません、従つて古い吾々が之等青年に代つて一步たりと雖も敵に遅れをとらぬ様、常に新なる創意工夫と眞剣なる研究練習に努力を致さねばならぬと思ひます。

會長就任に當りまして所懐の一端を述べ、會員諸君の奮起を促すと共に、今後學會運営に萬全を期すべく御後援を期待して止まない次第であります。

※ (南滿洲鐵道株式會社理事施設局長)